

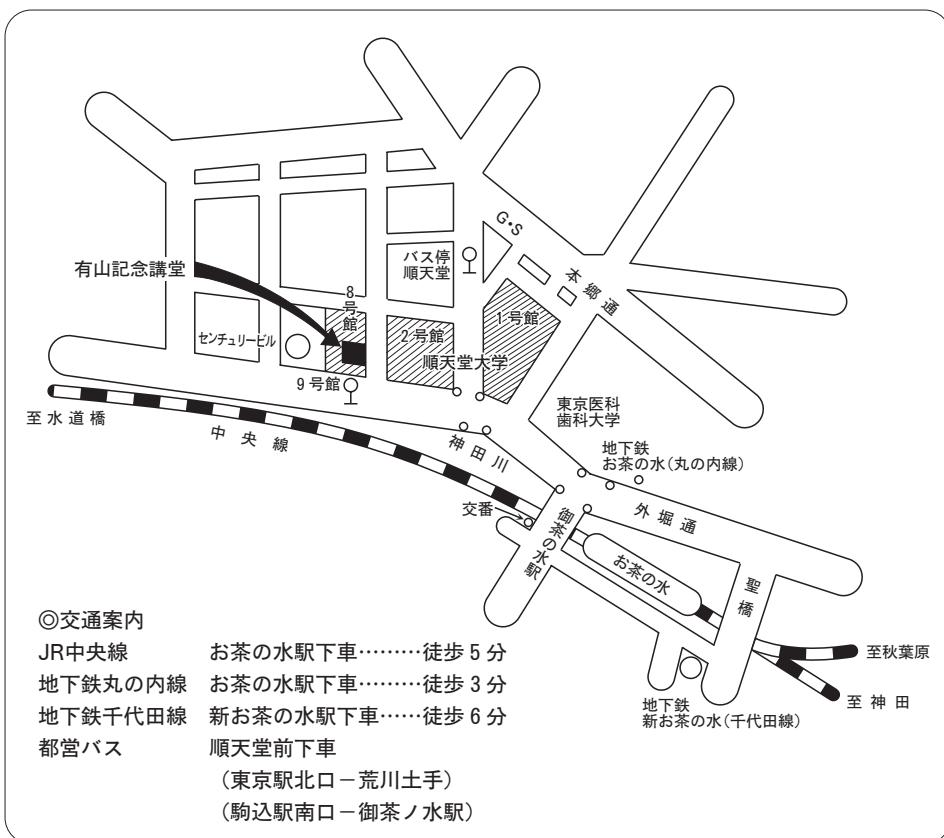
第529回

日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 平成17年5月21日(土)午後2時00分

場 所 順天堂大学有山記念講堂



演題の申し込みについて

- 講話会の当日、文書で提出してください。
- 抄録(160字内外)をおつけください。
- 原則として指定発言者をご記入ください。
- 演者、指定発言者は、当日抄録(200字以内)を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

世話人

プログラム係 滝田 順子 03(3815)5411
東京大学小児科 FAX 03(3816)4108
会場係 大塚 宜一
順天堂大学小児科 03(3813)3111
事務局 03(5388)7007
事務局電子メール shounihifuka@joy.ocn.ne.jp

第 529 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1題 6分, 指定発言 5分, 追加討論 2分以内, 厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:25

座長 池田 昌弘（東京都立清瀬小児病院腎臓内科）

1) PCC による家庭療法中にネフローゼ症候群を発症したインヒビター陽性血友病 B の 1 例

○七野 浩之, 梁 尚弘, 中村 昌徳, 陳 基明, 麦島 秀雄（日本大学板橋病院小児科）

第 IX 因子製剤による免疫寛容療法施行中のネフローゼ症候群発症例報告が近年散見される。私たちは、第 IX 因子インヒビター陽性の血友病 B の 32 歳男性が、免疫寛容療法ではない定期的 PCC 補充家庭療法を施行中にネフローゼ症候群を発症した例を経験した。ステロイド療法には反応せず、血液浄化療法が必要であった。文献的考察を加え報告する。

2) 腹部 MRI が診断上有用で、内科的治療にて軽快した急性巣状細菌性腎炎の 1 例

○松野 良介, 成井 研治, 岡部 均, 田中 大介（昭和大学豊洲病院小児科）
板橋家頭夫（昭和大学小児科）
竹内 透（竹内小児科医院）

症例は 6 歳女児。発熱、右側背部叩打痛を主訴に近医より紹介入院となった。尿路感染症を疑い、CTRX による治療を開始したが、症状及び検査所見の改善を認めなかった。第 5 病日に腹部 MRI を施行したところ、急性巣状細菌性腎炎と診断でき、内科的治療の継続にて軽快した。本症の診断及び治療に早期 MRI が有用であったと考えられた。

3) 乳児期早期に発見された皮膚筋炎の 1 例

○海津 聖彦, 伊藤 保彦, 小林 史子, 五十嵐 徹, 福永 慶隆（日本医科大学小児科）

生後 4 カ月の男児、乳児健診時に足底および顔面の発赤と Gottron 徴候を認めた。筋症状を伴わないものの、アルドラーーゼと可溶性 IL-2 R の高値を認め、また皮膚生検所見から amyopathic dermatomyositis (ADM) と診断した。現在ステロイド投与中で、皮膚所見は改善し、筋症状の出現も認めていない。乳児期早期に診断にいたったまれな症例と考え報告する。

第 2 グループ 14:25—14:50

座長 長尾 芳朗（社会保険中央病院小児科）

4) West 症候群を合併した Williams 症候群の 1 例

○伊藤 祐佳, 松裏 裕行, 佐藤 真理, 嶋田 博光, 高月 晋一,
中山 智孝, 佐地 勉, 月本 一郎, 諸岡 啓一（東邦大学第一小児科）
根津 敦夫（横浜市立大学市民総合医療センター小児科総合医療センター）

肺動脈・大動脈低形成、甲状腺機能低下症、精神運動発達遅滞のため経過観察していた児。1 歳 2 カ月より痙攣、脳波上での hypsarrhythmia より West 症候群、特異顔貌と FISH 法染色体検査で 7q11.23 の欠失より Williams 症候群と診断した。West 症候群を合併した Williams 症候群は希であり報告する。

5) CINCA 症候群の 1 男児例

○佐藤亜貴子, 長谷川大輔, 加藤 直樹, 山田 直人,
柏木 保代, 河島 尚志, 武隈 孝治, 星加 明徳（東京医科大学小児科）

生直後より発熱・発疹を認め、敗血症・髄膜炎と診断。抗生物質等にて加療を行うも改善なく、発熱・関節痛・発疹を繰り返していた。その後海外移住していたが、帰国後精査にて CINCA 症候群と診断された。現在ステロイドとアザチオプリン、NSAIDs にて改善している。CIAS 1 の exon 3, 4 に SNPs を除き遺伝子異常はなかった。

6) ビリルビン UDP ゲルクロン酸転移酵素遺伝子 (UGT1A1) の変異を確認した Gilbert 症候群の 2 例

○斎藤 洋平, 小口 学, 酒井 理恵,
鈴木 恭子, 栗屋 敬之, 高田 昌亮 (東京都立豊島病院小児科)
渡辺 晴子 (済生会川口総合病院小児科)
根本しおり (板橋中央総合病院小児科)
阿部 和子 (あべこどもクリニック)

UGT1A1 の変異を確認した Gilbert 症候群の 6 歳女児と 9 歳男児を経験した。共に感染時に増強した間接ビリルビン優位の黄疸を主訴とした。女児例は薬剤代謝活性の発現に重要な共通エクソンであるエクソン 5 の Y486D 変異で、セファゾリン投与により肝機能障害を生じた。男児例は T-3279 G + A (TA) 7 TAA とエクソン 1 の G71R の複合ヘテロ接合体であった。

教 育 講 演 14:50—15:20

座長 小口 学 (東京都立豊島病院小児科)

Gilbert 症候群とビリルビン UDP-グルクロン酸転移酵素遺伝子変異

丸尾 良浩 (滋賀医科大学小児科)

ビリルビン UDP-グルクロン酸転移酵素遺伝子 (UGT1A1) の変異は遺伝性非抱合型高ビリルビン血症である Crigle-Najjar 症候群 1 型, 2 型および Gilbert 症候群を引き起こす。軽症型の Gilbert 症候群は人口の 5 % に存在するため臨床で遭遇することが多い。UGT1A1 の遺伝子変異は人種間においても異なる。日本人の UGT1A1 の変異と Gilbert 症候群および関連疾患について解説する。

休 憩 15:20—15:30

感染症だより 15:30—15:40

座長 山本 光興 (山本小児科)

南谷 幹夫 (東京都医師会感染症予防検討委員会)

第 3 グループ 15:40—16:10

座長 松井 猛彦 (東京都立荏原病院小児科)

7) 好酸球性胃腸炎の 1 女児例

○金子 徳胤, 工藤 孝広, 岩崎 友弘, 和田万里子,
染谷朋之介, 田所里枝子, 吟野 篤, 大塚 宜一,
永田 智, 清水 俊明, 山城雄一郎 (順天堂大学小児科・思春期科)

症例は 6 歳、女児。主訴は腹痛、下痢。既往歴はアトピー性皮膚炎、気管支喘息。食後の腹痛、水様下痢が続き当院紹介受診。末梢血中の好酸球 10,000/ μl , IgE 2500 IU/ml と上昇。精査の結果、好酸球性胃腸炎、蛋白漏出性胃腸症と診断し、モンテルカスト、プレドニゾロンの投与にて軽快した。若干の文献的考察を加え報告する。

8) RS ウィルス感染症を中心とした 3 カ月未満の細気管支炎症の検討

○森田 清子, 絹巻 晓子, 黒澤 照喜, 小高 学,
柳原 知子, 和氣 彰子, 柳原 裕史, 松岡 典子,
小鍛治雅之, 寺川 敏郎, 遠藤 泰弘, 横路征太郎 (東京都立府中病院小児科)

[RS ウィルス感染症を中心とした細気管支炎は、急性呼吸不全、無呼吸発作などの重篤な症状を呈することがあり、迅速な診断と的確な治療が必要となる。今回当院における過去 7 年間の細気管支炎症例で、特に重症化しやすい 3 カ月未満の延べ 75 症例について、症状、血液ガス所見、治療とその後の経過について検討したので報告する。]

指定発言 梅原 実 (神奈川県立こども医療センター救急診療科)

9) 過度な食事制限により低蛋白血症をきたした 1 例

○岸 崇之, 平野 幸子, 中山 智博, 石垣 景子,
小平かやの, 舟塚 真, 中野 和俊, 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)

[症例は 1 歳 9 カ月男児。8 カ月時炒り卵摂取後に蕁麻疹が出現した。近医の指導から IgE (RAST) 値が陽性であった卵・乳・大豆製品・肉類を完全に除去した。10 カ月時低蛋白血症・浮腫を呈し入院した。低抗原性ミルクを中心とり、症状は改善した。その後食事制限を解除し大豆・肉類を摂食しているが、皮膚症状や即時型アレルギー反応は認められていない。]

第 4 グループ 16:10—16:30

座長 岩田 敏 (国立病院機構東京医療センター小児科)

10) 法律上の性を男性から女性に変更した 46, XX P450 oxidoreductase 異常症の 1 例

○吉田 真, 堀 尚明, 天野 直子, 井ノ口美香子,
長谷川奉延, 高橋 孝雄 (慶應義塾大学小児科学教室)
深見 真紀, 緒方 勤 (国立成育医療センター小児思春期発育研究部)

[症例は生下時より外陰部異常（陰核肥大・陰唇瘻合）を認める法律上の男児。本児妊娠中に母親に多毛の出現および変声を認めたため、胎盤由来アンドロゲン過剰を疑い 4 カ月時に精査。46, XX P450 oxidoreductase 異常症と診断し、患児の性を女性に変更した。外陰部異常を有する新生児の法律上の性決定および鑑別診断に、妊娠中母体の男性化兆候の有無が有用。]

11) 性行為により感染した急性 B 型肝炎の 14 歳女子例

○松永 典子, 朝貝 省史, 三春 晶嗣, 津村 由紀,
土橋仁保子, 櫻井 優子, 松原 啓太, 岩田 敏 (国立病院機構東京医療センター小児科)

[症例は 14 歳女子。眼球黄染、皮膚搔痒感、全身倦怠感を訴え来院し、血液検査により急性 B 型肝炎と診断された。約半年前にインターネットで知り合った男性との性交渉があり、感染経路は性行為によるものと考えられた。小児における性交渉の機会は増加しており、性感染症予防、性道徳の観点から、早期の適切な性教育導入が必要と考えられる。]

運営委員会だより

1. 3月の講話会参加者182名、新入会12名（会員数1843名）、ベビーシッタールーム利用者2名。
2. 運営委員会では、地方会講話会を活発な意見交換の出来る場にしようと考ておりまます。つきましては、
発表される演題に関し、診断や治療で苦慮された点を一枚のスライドにまとめて合わせてご発表頂くよう、
ご協力お願い申し上げます。また、指定発言なるべく取り入れるよう、お願い申し上げます。
3. 教育講演
 - 5月の教育講演では滋賀医科大学小児科から丸尾良浩先生をお招きして「Gilbert症候群」に関連したトピックスをお話しして頂く予定ですので奮ってご参加下さい。
4. 東京都地方会のスケジュールが順天堂大学医学部小児科のホームページ（下記）に加わりましたのでご参考下さい。その他、地方会の運営などに関し、ご意見、ご希望などございましたら、どうぞご連絡頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。<http://www.timelyhit.ne.jp/ped-juntendo>
なお、5月からの予定は下記の通りです。
第529回 平成17年5月21日（第3土曜日）
第530回 平成17年6月25日（第4土曜日）
第531回 平成17年7月16日（第3土曜日）
8月はお休み
第532回 平成17年9月17日（第3土曜日）
第533回 平成17年10月22日（第4土曜日）
11月はお休み
第534回 平成17年12月17日（第3土曜日）
第535回 平成18年1月21日（第3土曜日）
第536回 平成18年2月25日（第4土曜日）
第537回 平成18年3月18日（第3土曜日）

Computer Presentationをご希望の演者の先生方へ

Computer Projectionによる発表を受け付けます。ただしWindowsのみで下記要領でお願いいたします。Powerpoint 2000以上で作成、Font文字はPowerpoint備え付けのみ。CD-RもしくはFloppy Diskにて、第1、2グループ発表者は午後1時30分までに、第3グループ以降の発表者は午後3時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルスcheckをお願いいたします。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設いたしました。利用ご希望の方は、利用当日の1週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

演者の先生方へのお願い

一次抄録は160字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願いいたします。（原稿は活字もしくはワープロ文字で）

WAKODO

薬価基準収載

気管支拡張剤
テオフルマート® ドライシロップ 20%
TEOFURMATE Dry Syrup 20%
(テオフィリン徐放性ドライシロップ)

劇薬、指定医薬品



※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご覧ください。

資料請求先

販売元 和光堂株式会社
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-14-3

製造元 東和薬品株式会社
〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号